

星のねがい



ppupo

まいにち、まいにち 星は願っていました。

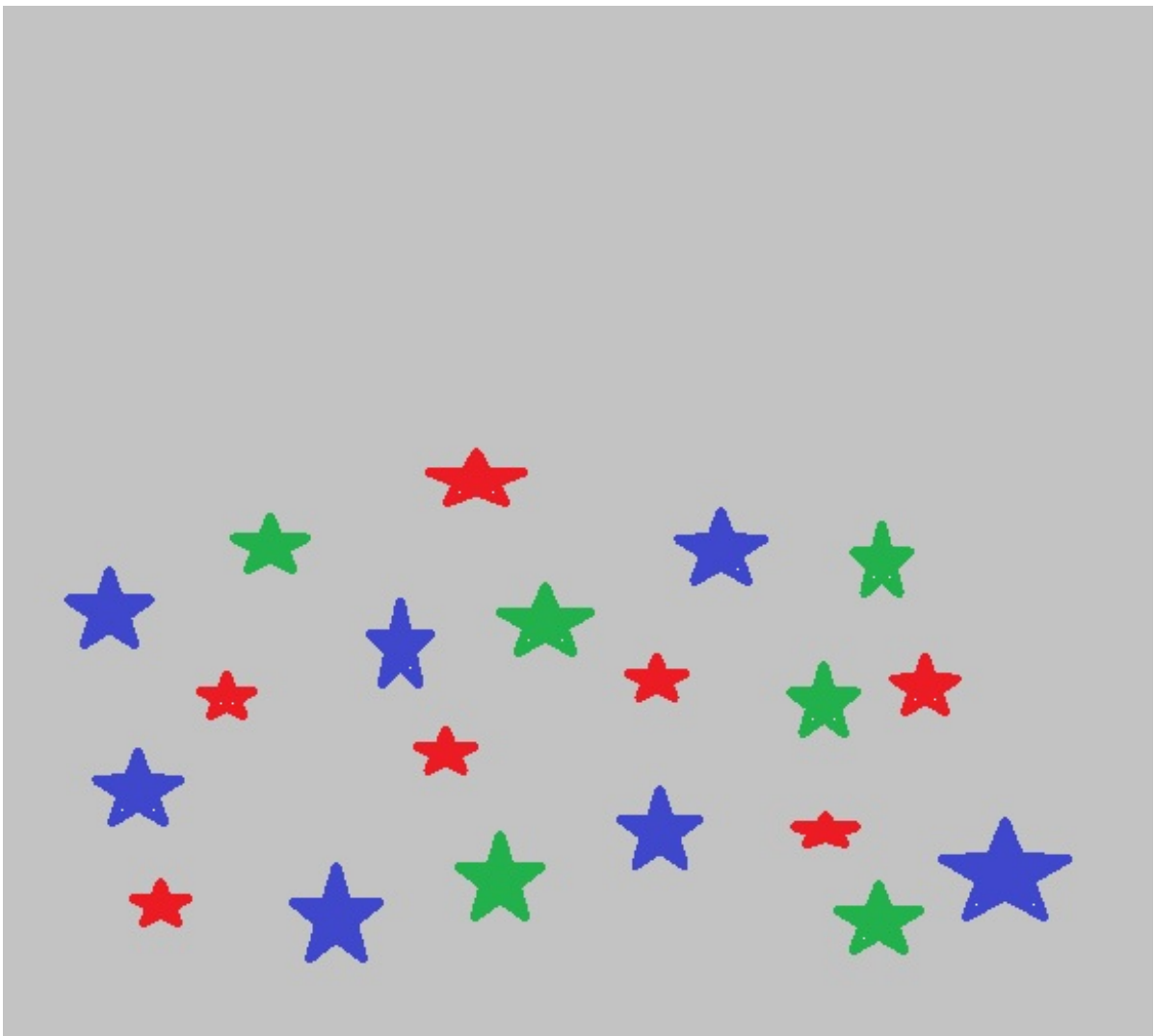
目の下に広がる きれいな 星になりたいと

夜景がじぶんと同じ、星だと思いこんでいます



”あか”いろの ほしになるのが 夢です

ぴかぴか 色とりどりの光で きらきら
いつか なかまに 入れてもらいたいと
かんがえていました



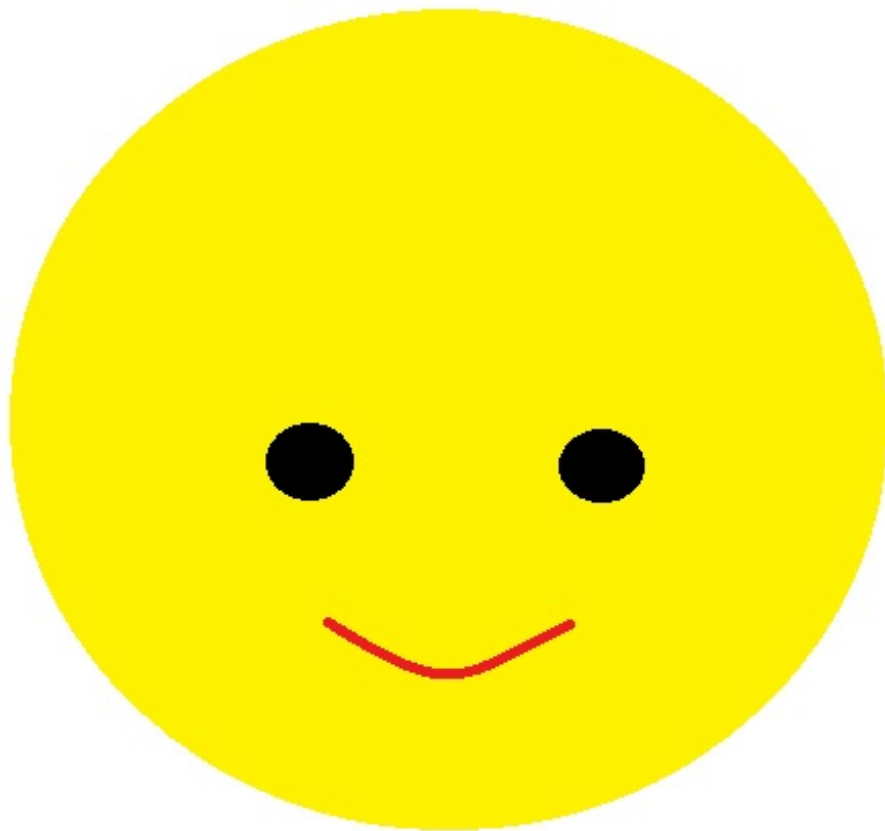
どうしたら あのばしょに いけるのでしょうか？

ある夜 よいことを思い出しました。

そうだ 「お月さんじいちゃんなら きっと

知っているに ちがいない」

おじいちゃんに会いにいこう



ながいながい ほしの道を歩いて

おじいちゃんのところにつきました



星は おじいちゃんにおねがいしました。
。

「ぼく下にある きれいな ”あか”い星
になりたいの！」

友達もたくさん いるし
下にいきたいの

おじいちゃんは 少しこまったかおで
どうして あかい星になりたいのかい？
と ききました



星は 「あのね 毎日毎日見てたの ピカピカ・キラキラでね
ぼくたちよりたくさんの中かまが流れ星より長いじかん うご
いていて、なんて きれいな星なんだろうと・・・
その中で いちばん”あか”がきれいだから

おまえの 今のいろは いやなのかい？

ぼくの色？じぶんでは なにいろか わからないよ？

おじいちゃんは今のいろ とてもすてきだと 思うよ

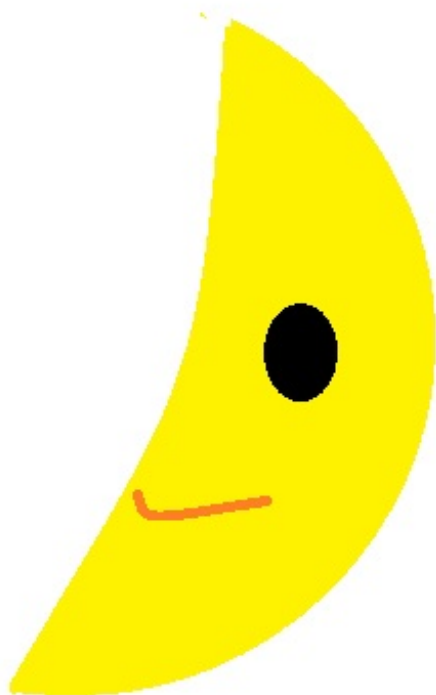
だって いつも、まわりは くらいくて色がみえないし
だれもピカピカにあかく 光っていないよ

おじいちゃんは、おまえは、わしと同じ　きれいな色だよ
わしより若いだけ　もっとかがやいているが
空の中で一番だとおもうよ

でも　やっぱり下に行って見たい　星はおねだりします

しばらく　おじいちゃんは考えていましたが・・・

「会えるかが　わからないが、そんなに行ってみたいなら
みかづきおじさんに　会うことが出来ればいかれる」
と言いました



星は飛びあがってよろこびます

どうしたら 会えるの？

おじいちゃんの変身するのが三日月おじさんさ

半月おじさんもそうだよ おじいちゃんの変身なんだ！！

それから星はおじいちゃんの側からはなれず

みかづきに変身するのを楽し

みに待ち続けています



星は知らないのです空の月の

おじいちゃんは丸いまま

だという事を

地上からしか変身した

おじいちゃんが見え

無い事も



だから今日も星は月のおじいちゃん

のそばで待っています

みかづきおじさんに会える日を